

KSKP
NO. 8



バンジー
だより

発行 1994年8月

編集 クリエイトハウス
“バンジー”

肌勢俊

たのしいことなら、なんでもしよう

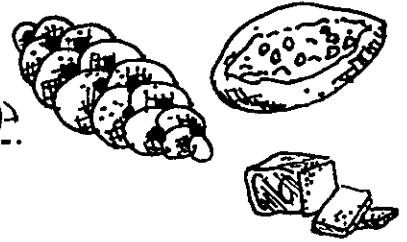
“地域に開かれ地域とともに”を念頭に創られたバンジー、この一年をふり返ってみて、まだまだ根づいていないな、と職員みんな猛省し、根づかせるためどうしたらいいかを、真剣に話しあいました。そして先日、知人で、県外から大阪のS市に嫁ぎ子育てをしながら、一部の人が古いしきたりの中で私有化していた地域の公民館を、持ち前の好奇心と行動力と奇抜な発想で、広く住民に解放することに成功した元気な女性を招き、新しい発想や手法を聞きました。

バンジーは早速そのアイデアをとり入れることにしました。まず最初のとりくみとして、8月20日(土)「ふれあい河内音頭をおどる夕べ(仮称)」をすることにしました。地域の自治体、高校生ボランティア、保護者など広く呼びかけ、とにかく元気で楽しいひとときを、と今夢中になっています。

これからは、月に一回「地域ふれあいの日(案)」をつくれたらいいな、と思っています。そして、いろいろな人たちと“たのしいことならなんでもしよう”という発想で、(例えばおいしいケーキとお茶をのみながらダベリングをする日、趣味を披露し教えてもらう日など)バンジーのホールを地域につなげるよう努力したいと思っています。皆様のアイデアをお待ちしています。

(河野)

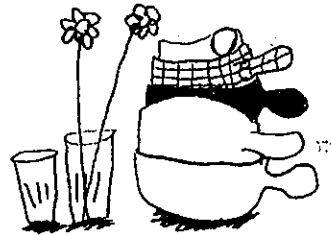
パンをつくってみませんか



今年は、ほんとうに暑いですね。学校に通っている人は夏休みを楽しんでいることと思います。しかしパンジーにとっては少し困ったことがあるのです。と言うのも、お得意様は学校関係の方々が多く、夏休みになるとパンの注文が減って少しさみしい思いをしなくてはならないからです。

そこで、夏休みをはさむこの季節、どのようにして注文をとり、仕事を作りそして収入をあげようかとパンジーのパン部門では頭をなやましています。そして考えたうちのひとつが「あなたがいつも食べているアンパン・クリームパン・パンジークロスをあなたの手で作ってみませんか」という呼びかけです。パンジーのメンバーといっしょに、自分でパンを焼いてみたいなあと思われる方は、ぜひお問い合わせ下さい。
(おおきた)

§ いろいろな色に囲まれて §

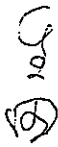
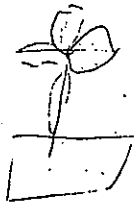


最近、園芸で庭にトマト、なす、キュウリ、ピーマン、ししとうを新たに植え、それぞれ夏を感じさせる実をつけています。

軽作業でも、いちばん長くやっているせんたくばさみ（今までは、赤青黄黒緑の5色）もすっかり衣替えをし、色は4色に減ったのですが、ラベンダーやエメラルドグリーンなどしゃれた色でメンバーも「〇〇色しようよ」と自主的に言ってきたり、新鮮味があっという刺激になっているな、と思っています。

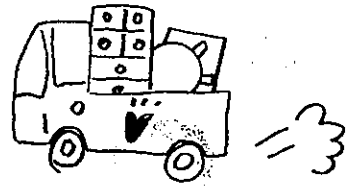
さおり織りの方もだいたいメンバーが決まってきています。ピンクの縦糸でやさしい布を織っている人、青の縦糸でさわやかな布を織っている人など、それぞれ個性的な布を作り上げていっています。

いろいろな色にかこまれながらの作業・・・パンジー、そしてメンバーの心の色が素敵な色になっていけばいいなあ、と思っています。
(おがわ)



グループホームからのお知らせ

「ひっこしました」



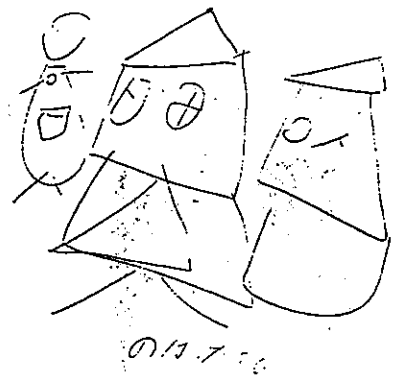
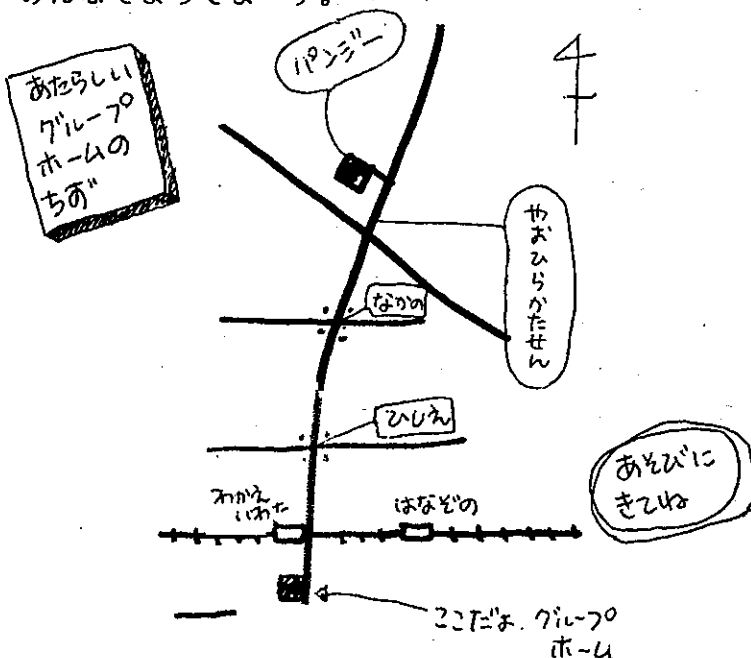
「じりつホームつばさ」は、6がつ9かにひっこしました。まえの いわたち
 ようから あるいて、2ふんの わかえほんまちです。7がつに ひっこする
 よていでしたが、よていがはやまり、まわりのひとには れんらくが おそくな
 ってしまったので、もうしわけなくおもっています。また、ひっこしについては、
 たくさんのかたに いろいろとむりをきいてもらったり、たすけてもらったので
 このぼをかりて、おれいをもうしあげます。ほんとうにありがとうございました。
 これからも あたたかくみまもってもらえればと、ねがっています。

メンバーも、すこしいれかわりました。グループホームの いちばんのふるか
 ぶの にしおくんが、ひとりぐらしをはじめするために、グループホームをあとに
 しました。まえのグループホームの むかひのマンションでくらすそうなので、
 みなさん あそびにいてあげてください。

あたらしいグループホームのメンバーは、はだせとしかずさん、?さい、「サ
 タデーナイトフィーバー」のジョン・トラボルタをおもわせるとおもいきや、と
 てもはずかしがりやで、やさしいかれです。7がつからは、まえに、たいけんし
 ゆくはくをしていたこともある、かわのようこさんも くわわります。また、た
 いけんしゆくはくもはじめたので、ますますにぎやかになりそうです。とてもあ
 わたらしいグループホームですが、これからもあそびにきてください。

みんなであってまーす。

(つきおか)



自己紹介

☆堀川 幸子 (ほりかわ さちこ)



歌が大好き。一日一回は「あ～あ～長崎は～今日も～雨だった～」とマイクを持ってうたっています。もちろん歌詞はぜんぶおぼえています。最近どんどんうまくなってきました。プールが大好き。一時間でも二時間でも泳ぎます。スプライトも大好き。食後の楽しみはやっぱりコレ!

☆今西 聡 (いまにし さとし)



えんぴつとなないろクレヨンで毎日あったことをかくのが好きです。パンはちゃいろです。せんたくばさみはきれいないろです。ぎんいろのお仕事はファンヒーターのぶひんです。料理をつくるのをよくてつだいます。おいしくなるとうれしそうです。たべるのもだいすきです。

☆西澤 隆司 (にしざわ りゅうじ)



なんでも食べます。笑うとみんなが楽しくなります。からだを左右にゆらして踊るのがとてもじょうずです。ごはんをたべているときや仕事をしているとき、なかまを笑わせるくらいじい一つとするのが得意です。プールに入ること、水にうかんでゆらゆらするのがだいすきです。

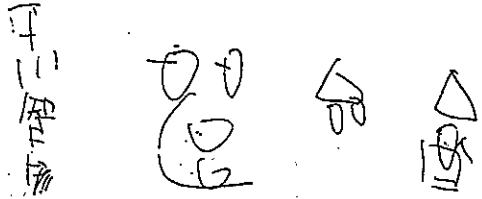
☆西田 隆行 (にしだ たかゆき)



なんでもかんでもやりたい! 好奇心いっぱいどんな仕事もやってみます。しっばいすることもあるけど、やっぱりなんでもやってみたい。朝、バスがパンジーについたらリフトのあげおろしはぼくの得意なこと。もうバッチリやもんね! マンガが大好きで昼休みによくパンジーのちかくのローソンでかっています。

☆平川 智彦 (ひらかわ ともひこ)

ぼくは、「吉本」が大好きです。しまったしまったしまくらちよこ！が大好きです。しまきさんが大好きです。しょうぎが大好きです。しむらけんが大好きです。関口ひろしが大好きです。カラオケが大好きです。電車にのってバンジーにかよっています。ごめんくださいー、どなたですかー、おはいりください、ありがとう！



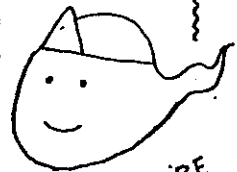
厨房の仲間たちシリーズ

お茶を入れて ん～10年！！

さて、今回の厨房の仲間は“千利休も真っ青！ お茶を入れて ん～10年！！”のような彼女をご紹介します。彼女はあまり厨房には顔を出さないのですが、昼食時にはやかんを持ってゆき自分の手元において、ゆのみを差し出す人に実にスピーディーに且つお上品にお茶を注いだり、ティータイムの時には、先を争って（第1回目ご紹介したニョイニョイの彼との二人っきりの争いだけど）お茶を注いでくれます。

そのたくましさは、見ている者を感心させます。

彼女の入れてくれた紅茶は、ティーバックを1杯につき1バック使用しているという贅沢なもの。なんだか私と育ちが違う事を思い知らされます。また一度、彼女の入れた超リッチな紅茶（ちなみに使用している紅茶は、安物）をご賞味していただくために、バンジーへどうぞ。



DO~RE
OCTAWO
ITTUPAI



ゆきめ

どらえもんかいのページ

もうまけました。

ろくがつじゅういちにちに えぬけん(※)にいったときに、よそのさぎょうしよのこと きいたりしました。そのあとで せいかつひ、ねんきんの はなしをして おわたあとで 5000えんをもらいました。はっぴょうしたあとで、とても、もうけました。かえりは、いくたさんと ぼくと さとこさんで さんにんでおこのみやきやさん はいりました。

みんなでしごとをしている、せいかつひわけている。なにかあったら、ぼくたちも いきたいとおもっています。またなにかあったら ぼくたちにれんらくをしてほしいとおもっているよ。

はじめていったときは もうこまった。はやしさんと さとこさん いくたさん ぼくと よにんでいったときは もうこまっちゃったです。なにかあったら すぐれんらくしてほしいです。ありがと。もうまけました。

清水一男

※えぬけん=ノーマライゼーションけんきゅうかいのこと。そのかいぎで清水くんは、おかねについてはなしをしました。

えにつき 今西 舟



今日、ちゅうがくをしまし下。いたかった。がまいました。

どらえもんかいのページ

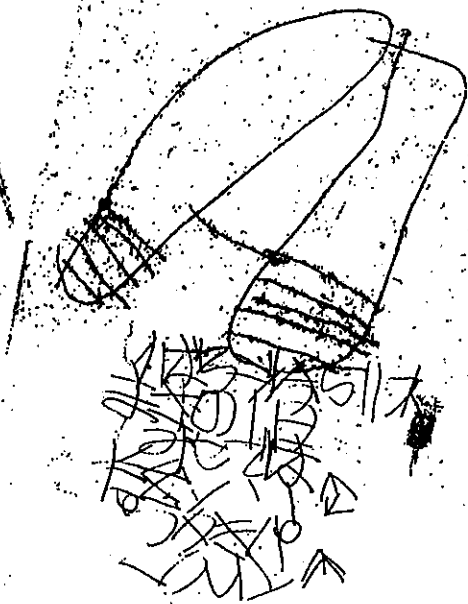
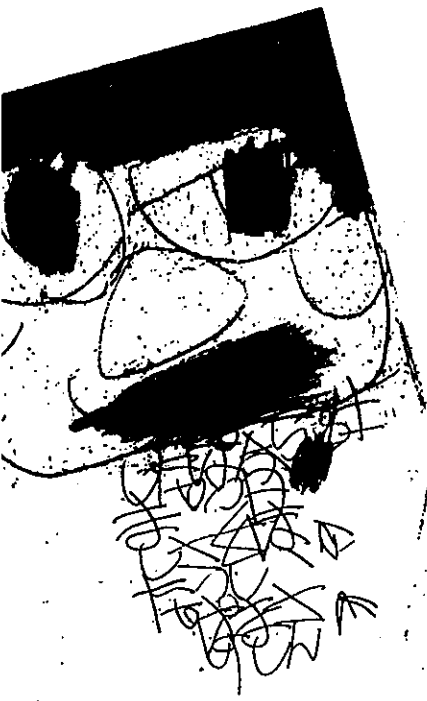
日記

6月29日 水曜日 天気(晴)

朝起きたらワークの勉強をしました。朝食を食べました。朝起きたらワークの勉強をしました。朝食を食べました。朝起きたらワークの勉強をしました。朝食を食べました。

くるくる手話の勉強をしました。良く元気張りました。あやつを食べて後でシャワー浴びました。ファミリートを書いた簿記の勉強をしました。

荒井俊行



今日は、11号つくセンターへ行きました。中しゃをしました。本をかいました。

今日は、10号ジ-2、きいろのセンターへ行きました。

がくしゅうコーナー

決断の時

堀 智晴



大阪にきて早くも20年が過ぎようとしている。私の仕事は障害児の保育と教育について考えるということなので現場から学びたいと考え、中・高等部のある「精神薄弱」の養護学校に通わせていただいた。私は先生の助手をして子どもたちと勉強をしたり遊んだりした。

そこで出会った子どもたちと今もつきあいがある。今はその人たちはもう年は30代の半ばなので決して子どもではない。この人たちから私は障害者問題を考える原点を多く教えられた。その時の私の友人は今もがんばって働いている。時折電話をかけてきて私の家に遊びにきたり、大阪で待ち合わせているんな行事に参加したりする。

知的障害者の自己決定が今問題になっている。私の経験では知的障害者であっても自分のことは自分で決めていると思う。

0さんは養護学校を卒業してすぐ製本屋に就職した。給料も当時としては一人前近くもらっていた。0さんは同じ養護学校時代の友人で私の親しい友人のHさんと時々私の家に遊びにきた。私の子どもたちと近くのはらっぱでよく野球をした。0さんのボールのあとを追いかける姿は見ていてほほえましいものであった。話っぷりはゆっくりとしている。

ある時0さんのお母さんから電話がかかってきた。相談があるというのである。最近0さんが仕事先で痛い目にあっているらしいというのである。風呂場でももにあぎを見つけたのでよく聞いてみると、勤め先の社長になぐられたりけられたりしているようなのである。0さんはこのことを自分から母親に言わなかった。

お母さんはさっそく会社を訪ね、本人に手をだすことはやめて欲しい、と社長に抗議とお願いをした。しかし、社長は「この子らは体でしこまなあかん」といって応じてくれないのである。

しばらくして0さんは会社に行かなくなった。勤めを拒否したのである。0さんに聞くと、仕事で失敗をすると雑巾で顔をふかれる、もういやだ、というのである。もう我慢しきれない、自分は会社を辞めると、0さんは決めたのである。

私は電話で0さんと話をした。

「今仕事をやめると簡単に別の仕事は見つからないよ、いいの？」

「いい。行かない。もう行きたくない」

毅然として0さんは言い切った。

お母さんは「彼の大事なものが壊されるのは許せない。仕事をやめても彼は家事もよくするので、次の仕事が見つかるまで家でゆっくりさせます」と言った。

今また0さんは働いている。

(大阪市大 教員)

パンジー講演会 わたしの横にいて

第2回 障害者と母親

— いま、障害者の自立を
はばむ仕組みとは? —



講師	要田 洋江 (大阪市立大学)
日時	10月21日 (金曜日) 19:00から21:00
場所	クリエイティブハウス「パンジー」

東大阪で障害者の地域での自立をめざして活動してきて、ほぼ10年が過ぎようとしている。知的障害者に限れば、1991年にグループホーム(共同生活)を始めた頃から、スウェーデンの福祉制度やアメリカの知的障害者の当事者運動が日本にも紹介され始め、パンジーのメンバーも、大阪のなかまの会や、全障連大会、カナダでのピープルファースト大会などに積極的に参加し始めた。そして、自分達の話をしちんと聞いてくれる人がいること、自分達で会議を進めていくことなどを経験することで、メンバー達はますます元気になっていっている。そんな中で、私一人が、理念と現実の狭間で、ぐずぐずと煮えきらないでいる。その煮えきらなさを自分でも持て余しているとき、要田洋江さんの論文に出会った。

彼女によると、欧米の障害者解放運動では、「脱施設」をあげるのみであるのに対し、日本では「脱家族」が含まれているという。西欧の障害者は成人すると、親元からはなれることがあたりまえの社会に対し、日本の障害者は成人になっても親の保護下にいるのはあたりまえ、介護は母親が担当するのがあたりまえの社会。このような仕組みの中で、障害者は自立するように育てられていない、と語られる。

日本社会における家族の意味、そして家族の一員である障害者と母親=介護される者と介護する者に焦点があてられ、障害者の自立を阻む仕組みが解きあかされていく。

いま、障害者の親は、障害者を一人の市民として認めることを前提として、何をすればいいのだろうか、そして、私達は……?

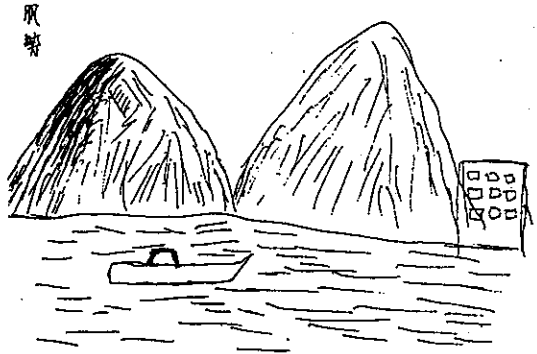
講演の日を楽しみにしている。

(よしみ)

ガイドヘルパー物語

もっと みんなの事をしりたくて

落合 幸男



パンジーのみなさんこんにちは。みなさんとお会いして8ヶ月ぐらい過ぎた頃だと思います。パンジーのみんなを知ったのは、学校の先生を通じて見学に行ったからです。そしてパンジーのみんなに少し興味を持ったので、ガイドヘルパーをやってみようと思ったのです。最初のペアの人は、ナツナント野畑さんとやすこ(東君)でした。初日から二人とは・・・と思うと同時に不安がでてきました。しかし何事もなく、無事パンジーへ帰る事ができました。これも、お二人方が私を自信づけようと色々話しかけてきてくれたからです。

それから毎月パンジーへ行くようになり、みんなと仲良くなっていくという実感がわいてきた頃、もっとみんなの事を知りたくて、実習をさせていただきました。それによってさらに親しみを持つ事ができ、同時に一人一人の個性が少し見えてきたようにも思いました。パンジーのみんなは、のびのびと過ごしていると思います。もちろん、一人一人の特徴をうまく引き出している職員さんの努力の賜物です。そんなパンジーがとても大好きで、そういう職員にもなりたいなあと思っています。

私がパンジーのみんなに望むことは、外出活動も含めてさまざまな場所へ行き、そこの人・物・景色を見て何かを感じとってほしいなと思います。要するに感情豊かな人間になってほしいということです。そして近い将来の目標は、野畑さんと「わいわいサタデー」の生放送を見に行くことです。野畑さんどうでしょうか？

最後に、ガイドヘルパーとしてまだまだ未熟な私に親切にしてくださった職員さん、そしてパンジーのみなさん。本当にありがとうございます。そしてこれからも、よろしくお願いします。精いっぱいがんばります。

ガイドヘルパーきてや

「やっぱりそとにでていくのはたのしいなあ」……そんなふうを感じているパンジーのメンバーと一緒に色々な体験をしてみませんか？最近ガイドヘルパーさんの年齢幅も広がってきて、今のところ10代から40代まで様々な人たちが来ています。年齢、性別、経験は関係ありません。あなたもぜひご参加を！！
《応募方法》ハガキに住所・氏名・年齢・応募の動機などを書いて、パンジーまでお願いします。

★★★★★★★★★ よ て い ★★★★★★★★★★★

- 8月6日(土)……外出活動
- 10月1日(土)……みんなあつまれスポーツ大会
- 10月30日(日)……東大阪市民健康祭り
- 11月5日(土)……外出活動
- 12月3日(日)……忘年会&クリスマスプレゼント買い物



★この他にも第3土曜日のクラブ活動や色々な行事にも募集しています。

《よてい》9月8日(金)ふれあいサマーキャンプINクルージング
(サンフラワーによる大阪湾周遊&フェスティバル)

9月17日(土)～18日(日)……全障連全国大会(岐阜)

いろいろな『パンジーだより』いかがですか？

いつも『パンジーだより』をよんでくれてありがとうございます。
わたしたちはもっとたくさんのひとに『パンジーだより』をよんでもらいたいとおもっています。いつもどおりの『パンジーだより』のほか

- ① てぶに ろくおんした『ばんじーだより』
- ② おおきい じの『パンジーだより』
- ③ ひらがなの『パンジーだより』をつくります。

“この『パンジーだより』をよみたいな”とおもったひとは
パンジーまでおしらせください

書き損じハガキ、切手を待っています!

ご家庭や会社などで、暑中見舞いの残り、書き損じたままのハガキ、貼ったままでスタンプを押していない切手など眠っていませんか?

自立生活部門ではこれらを集めて活動資金に充てたいと思っています。引き出しの片隅から、ご協力お願いします。

御協力ありがとうございます。

〈カンパ 寄付金をいただいた方です〉 (敬称を略させていただきます)

大内 照子 埴下 千里

〈書き損じハガキを送っていただいた方です〉

井川 友子 田中 誠

郵便事情などで、お名前の漏れていらっしゃる方がありましたら、申し訳ありませんが、パンジーまでご連絡下さい。

パンジーのメンバーが全国へ飛び出すために、カンパをお願いします。

8月には静岡、9月には岐阜県、10月には大阪で全国の知的障害者が集う会議があり、そこでは自分たちの現実、将来のことなどを語り合います。現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担が軽くなるいいな、と思っているので、ぜひ、旅費や宿泊費のためにカンパをお願いします。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜2-10-1-3
緑橋グリーンハイフ・アド企画気付